

令和2年9月

各団体・機関の責任者 各位

一般社団法人 農業開発研修センター  
会長 理事 小池 恒男  
[公 印 省 略]

## 令和2年度（通算第27回）JA共済総合研究会の開催について

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当センターでは、4月7日の新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言を受けて、感染拡大防止のため、7月と8月に開催予定の基幹研究会を止むなく延期しておりました。

この緊急事態宣言を受け、わが国では国民の厳しい自粛により新型コロナ感染拡大の第1波を乗り越え、緊急事態宣言の解除に至りましたが、自粛規制の緩和等により感染者数が増加傾向にあり、第2波、第3波の懸念が現実味を帯びてきました。

そこで、閉塞感が漂う新型コロナ禍を乗り越え、アフターコロナをどう切り拓いていくか。研究者・実践者の提言を通じて、理解を深め、確信へとつなげることができたらと願い、標記研究会を別添開催要領のとおり開催いたします。今回は、「趣旨」に示してありますとおり、厳しい状況のなか、「JA共済3か年計画」の重点取り組み事項の再点検と自己改革の進捗状況に触れながら、環境変化に対応した共済事業の体制整備のあり方をめぐって徹底討論いたします。

JAグループの役職員の皆様がアフターコロナの羅針盤を見出すための一助となるよう、是非とも本研究会をご活用いただきたいと考えております。つきましては、業務ご多忙の折とは存じますが、貴団体・機関の関係者、特に金融共済担当役員、本店共済担当部課長、支店長、LAトレーナーの皆様のご参加につき、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

敬 具

令和2年度（通算第27回）

# J A 共済総合研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

## 《趣 旨》

新型コロナ禍は、リモートワークの推進・拡大などにより、各業界の業務形態のあり方を変える転換点となりました。このことは保険業界も同様で、複数社の商品を取り扱う代理店を強化するなか、これまでの対面ビジネスに力を入れてきた保険業界でも、業務のデジタル化の整備など、これまでの業務推進のあり方を見直す動きが加速しています。

一方、JA共済では、今年度は「安心と信頼の『絆』を未来につなぐ～地域のくらしと農業を支えるJA共済～」をスローガンに掲げる「JA共済3か年計画」の中間年度となります。新型コロナ禍で閉塞感が漂う今こそ、情勢変化を踏まえて、これまでの実践結果の総点検と今後の改革課題と対応方向を明確にしなければなりません。

そこで今年度の研究会では、「JA共済3か年計画」の重点取り組み事項の再点検と自己改革の進捗状況に触れながら、環境変化に対応した共済事業の体制整備のあり方をめぐって徹底討論します。

期 間：令和2年10月14日(水)～16日(金)

会 場：京都JAビル 地下2階 201・202会議室（別図参照）

京都市南区東九条西山王町1 (Tel. 075-681-5169)

JR京都駅八条口より徒歩5分

定 員：40名 ※「3密」を避けるため、最大40名を厳守させていただきます。

参加費： [円(税込)／人]

会員※1	非会員	会友同時加入
45,000	62,000	51,000※2

※1：会員所属者および令和元年度以前からの会友（個人会員）です。

※2：令和2年度・3年度の2カ年の会友（個人会員）会費を含む金額で、新規加入に限ります。  
補足）令和元年度以前からの会友（個人会員）は部分参加割引があります。

## 昼 食：

15日(木)に昼食（弁当、1,300円）を準備します。

ご希望の方は、参加申込書にご記入のうえ、代金を送金してください。

## 申込方法：

参加申込書をファックスで送信し、参加費を送金してください。

なお、振込手数料はご負担ください。

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座預金 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通預金 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター

申込締切日：10月8日(木)17:00

受付ができましたら、受理通知書をファックスで送信します。

当開催要領および参加申込書は、ホームページ (<https://agridtc.or.jp>) に掲載しています。

日 程：

《第1日目》 10月14日(水)

13:30～13:40 開会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 小池 恒男  
(滋賀県立大学名誉教授)

13:40～13:50 オリエンテーション  
一般社団法人長野県農協地域開発機構 研究所長  
岡山大学名誉教授 小松 泰信 氏

13:50～15:10 報告Ⅰ 新型コロナと農業・農協  
(うち質疑応答約10分)  
横浜国立大学・大妻女子大学名誉教授 田代 洋一 氏

- わが国の産業・国土利用構造の「歪み」を写し出す新型コロナショックのゆくえ
- パンデミックに耐えうる持続可能な「この国のかたち」を創るために
- 今後の「農協改革」と農協の自己改革の課題  
－准組合員問題、信用事業代理店化問題－

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 報告Ⅱ 新型コロナウイルス感染拡大で見えてきた保険業界の課題  
(うち質疑応答約10分)  
福岡大学 商学部 教授 植村 信保 氏  
(キャピタルコンサルティング株式会社マネージングディレクター(非常勤))

- 格付投資情報センターの格付アナリスト、金融庁専門官を経て2020年4月より現職。  
主に民間生損保の経営分析やリスク管理支援を実施。
- 新型コロナウイルス感染拡大で進む新たなビジネスモデル
- 提言－新型コロナショック下で期待されるJA共済の役割－

《第2日目》 10月15日(木)

9:30～10:50 報告Ⅲ 「JA共済3か年計画」の実践状況と今後の対応  
(うち質疑応答約10分)  
－コロナ禍を超えて－

全国共済農業協同組合連合会 常務理事 早水 徹 氏

- 今次「JA共済3か年計画」の進捗状況と総括
- 今次「JA共済3か年計画」における今年度の重点課題と今後の取り組み
- 新型コロナウイルス感染拡大を見据えた、急ぐべきJA共済の課題は何か

10:50～11:10 休 憩

シンポジウム「環境変化に対応した共済事業の体制整備のあり方を考える」

11:10～11:30 座長解題 神戸大学名誉教授 高田 理 氏

- シンポジウムで議論したい論点  
例えば ・自己改革における共済事業の実践課題  
・経営基盤の確立・強化に資する共済事業改革のあり方  
・共済事業部門の体制整備と人材育成のあり方 など

11:30～13:00 昼 食

実践報告共通テーマ わがJAの共済事業戦略の課題

13:00～14:00 実践報告①

(交渉中)

14:00～14:10 休 憩

14:10～15:10 実践報告②

福岡県 福岡市農業協同組合 代表理事専務 宗 欣 孝 氏

- 昭和37年に誕生した福岡市（一部除く）を管内とする J A。組合員総数40,067名（うち、正組合員6,534名）、貯金4,274億円、貸出金2,140億円、長期共済保有高8,487億円、販売品販売高37億円、購買品供給高25億円（令和元年度実績）
- 複合渉外体制による推進体制の強化と支店を超えた取り組み（Field Sales Training）の実践
- 利回り商品ではなく「お客様に必要な保障」という観点を重視した商品の提案

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 討 論

(座 長) 前 掲 高田 理 氏  
(コメンター) 全国共済農業協同組合連合会京都府本部  
本部長 田中 広幸 氏  
一般社団法人農業開発研修センター  
常務理事 瀬津 孝

## 《第3日目》 10月16日(金)

9:10～10:20 報告Ⅳ 新型コロナ禍で明らかになった厚生連医療・福祉の使命と課題

(うち質疑応答約10分)

日本文化厚生農業協同組合連合会

代表理事理事長 東 公 敏 氏

- 1948年設立。会員は厚生連(厚生農業協同組合連合会)と単協(単位農協)などより構成。厚生連病院に対して、医薬品・医療資材・医療機器、単協に対して食品・保健福祉資材を供給する事業を実施
- 第9次中期事業計画のポイントと新型コロナ感染拡大を反映した対応課題
- 新型コロナ感染拡大対策における厚生連医療・福祉の課題は何か

10:20～10:30 休 憩

<総括的報告>

10:30～11:40 報告Ⅴ 総括と提言 ―これからの J A 共済の未来戦略―

(うち質疑応答約10分)

一般社団法人長野県農協地域開発機構 研究所長

岡山大学名誉教授 小 松 泰 信 氏

- 「農協改革」の現段階と注視すべき論点
- 新型コロナ感染拡大下における J A 共済の問題点・課題をこう考える
- 提言―共済事業の使命と役割―

11:40～11:50 閉会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝

(京都大学農学部非常勤講師)

注) 講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

### キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

- ・ 10月8日(木)17:00まで …… 10,000円
- ・ 10月8日(木)17:00以降 …… 全額

### 研究会レジメの追加について：

当研究会へご参加の場合に限り、1部あたり7,000円（消費税込）で申し受けます。

追加をご希望の場合は、参加申込書の下欄にご希望の部数をご記入ください。

追加レジメは、研究会当日にお渡しします。

後日発送をご希望の場合は、送料をご負担ください。

### その他：

ホテルにつきましては、各自で手配してください。

### 問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：info@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

### アクセス：



#### 《所要時間》

- ・ JR京都駅（八条口） ⇄ 会場（京都JAビル）＝徒歩5分

農業開発研修センター 行き

<FAX : 075-748-0855>

令和2年度（通算第27回）JA共済総合研究会参加申込書

〒

TEL

FAX

ご住所：

貴機関名：

ご記入者（部課名）

ふりがな  
（お名前）

部課・役職名	ふりがな 参加者氏名	会友同時加入 （希望者は○）	昼食（弁当） （希望者は○）
<記入例> 共済課長	けんしゅう たろう 研修太郎	○	○

レジメの追加希望 （ ）部

メールアドレスをご記入いただきますと各種セミナーの開催をご案内します。

@

<送金状況>

1. 振込（予定）先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行（該当する記号に○印をつけてください）

2. 振込（予定）日 …… 月 日

注1）必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。

《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》

2）ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。